



## MANIX REPORT

## マニックスレポート

寒中お見舞い申し上げます。

寒さ厳しき折、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。

皆様にとって2018年が実りある年となりますことを心よりお祈りしますと共に、  
本年もより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社マニックス  
代表取締役  
松田 幸治

昨年はこれからの大きな変化が予測できる出来事が数多く発生したように思います。グローバル社会において代表的な出来事と言えば、アメリカの新政権が本格的に始動したこと、そして近隣国で戦争が起こる可能性が高まっていることではないでしょうか。アメリカの動向に世界が左右される状況はこれまでと変わりませんが、アメリカ国民が選んだ政権の今後の動きには注目すべきだと考えています。その政権の判断が大きく左右する近隣国での戦争勃発に関しては、起こらないことを祈るばかりですが、万が一起こった場合、日本の経済にも大きな影響を与えることとなります。一部のメディアでは二月ごろまでが極めてリスクが高いとの見解を示しています。何を備えるかを考えるのは難しいところですが、「起こるはずがない」と思っているのと「起こるかもしれない」と思っているのでは、瞬時の思考が大きく違います。心の備えだけはしておきたいと思っています。

また、国内においては「働き方改革」や「ワークライフバランス」という考え方、「プレミアムフライデー」という週末の過ごし方を示唆する言葉が使われ始めたことなど、日本人の「働く」ことへの価値観を見直す時期に差し掛かったと捉えられます。勤勉で働き者の日本人と世界から評価され、身を粉にして働いた先人の弛まぬ努力によって、戦後の混乱期から世界を代表する経済大国へと発展してきました。何も無い時代から何でもある便利な世の中へと移り変わり、働くことへの価値観も多様化してきているのが事実です。ワークライフバランスという言葉があたかも労働時間の短縮を提唱しているかのようになり、本来の言葉の意味とは少し違ったかたちで一人歩きしていることは否めませんが、日本経済が良い方向に向かい、雇用の需給が逆転してきた状況下で若い人財(材)を確保するためには、ワークライフバランスという本来の言葉の意味がこれからの社会において重要なキーワードになると捉えています。

業界内においても各メーカーの状況を見る限りは全体的に上昇傾向にあると言えます。しかしよく見ると、明暗がはっきりと分かれる時代に入ってきたことも事実で、格差が生まれつつあります。そう考えると弊社のような中間流通を中心とした業態の企業が、次に訪れる社会環境の中で何を求められるのかをしっかりと見極め、お得意先様のお役に立てる強い組織を築かなければなりません。予測の域を超えませんが、弊社は次に訪れる社会環境に向けて準備に入っています。「環境に適応したもののだけが生き残る」という言葉を胸に、お得意先様のご協力を賜りながら、これから訪れる新しい環境へ適応できる組織作りを邁進していきます。

最後になりましたが、本年もお得意先様のパートナーという使命感を持って、社員一同お得意先様のお役に立てるように日々精進していく所存です。何卒、変わらぬお付き合いを心からお願い申し上げます。

最後までお読みいただきありがとうございました。

お知らせ

### マニックス イベント告知 !!

- 2月 16日(金) 「2018神戸リビングフェア  
17日(土) ~暮らしと道具市~  
<場所> 神戸ポートターミナルホール  
主催店参加: 明石店・神戸店・芦屋店
- 4月 14日(土) 「2018春のミニ展示会」  
<場所> MANIX太子店

トピックス

- ☑ 住宅ローン「変動型」「固定期間選択型」の利用割合が増加 <住宅金融支援機構調べ>
- ☑ ヤマダ電機、初のリフォーム店をオープン <リフォーム産業新聞>
- ☑ 【住宅リフォーム売上ランキング2017】発表 ★積水ハウスが1335億円で3連覇 <リフォーム産業新聞>

気になった記事があれば、ネットやTwitterで検索!